

## 平成22年度第4回応用セラミックス研究所教授会議事要録

日 時 平成22年7月21日(水) 午前10時00分～11時00分  
場 所 応用セラミックス研究所1階会議室

出席者 岡田所長, 細野, 伊藤, 真島, 佐々木, 田中, 林(静), 若井, 神谷, 谷山, 笹川, 松本,  
中村, 川路, 松下, 安部, 篠原, 坂田, 山田, 赤津, 阿藤, 須崎, 林(克)の各教員  
定足数の確認 現在員26名, 公務出張3名, 定足数16名, 出席者23名で成立

### 配布資料

- 平成22年度第3回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案)
  1. セラミックス解析部門(先端材料プロセス分野)教授選考経過および選考結果報告
  2. セラミックス機能部門(新規機能材料分野)教授選考経過および選考結果報告
  3. 平成22年度学術講演講師
  4. 客員研究員の受入について
  5. 第3回応用セラミックス研究所企画運営委員会議事要録(案)
  6. 第3回セラ研安全衛生委員会・第3回セラ研ブロック安全衛生委員会議事要録(案)
  7. 共同利用・研究支援室報告

### 席上配付資料

1. 東京工業大学プロダクティブリーダー養成機構(PLIP)
  2. H22年度10月期公募説明会
  3. 教員アンケート結果
- 議事に先立ち, 7月2日付け採用の外国人客員教授 Misochko Oleg Victorovich氏及び, 7月1日付け人事異動に伴うすずかけ台地区事務系職員(新任主査級以上)から挨拶があり, 次いで, プロダクティブリーダー養成機構(PLIP)古田特任教授から, 席上配布資料に基づき, 説明があった。

### 議事要録の確認

平成22年度第3回応用セラミックス研究所教授会議事要録(案)を承認した。

### 審議事項

1. セラミックス機能部門(新規機能材料分野)教授候補者の選考について  
伊藤選考委員長から, 資料1に基づき, 選考経過及び選考結果の説明があり, 可否投票の結果, これを承認した。
2. セラミックス解析部門(先端材料プロセス分野)教授候補者の選考について  
佐々木選考委員長から, 資料2に基づき, 選考経過及び選考結果の説明があり, 可否投票の結果, これを承認した。
3. 平成22年度非常勤講師の選考について  
所長から, 資料3に基づき説明があり, 審議の結果, これを承認した。
4. 第1回東京工業大学応用セラミックス研究所運営委員会について  
所長から, 資料4に基づき, 平成22年9月10日に開催を予定している本運営委員会の予定議題について説明があり, 審議の結果, これを承認した。

## 諸会議報告

所長から、諸会議報告については、所内のホームページに掲載しており、事前に確認いただいていると思うので、質問があればこの場で受ける旨の説明があった。

なお、内容について注目すべき点は赤字で示し、コメントについては緑字で記している旨の補足説明があった。

### 1. 教育研究評議会 (7/2)

- 1) 共同研究部門の設置における、外国籍の企業との契約については、いろいろな意味で相手の目的など慎重に検討すべきとの意見があり、研究目的・内容などを見直すことになった。
- 2) 2月5日の教育研究評議会において、審査された大学教員の懲戒処分について、この度、裁判所から「和解案」が提示された旨報告があり、併せて和解案の受入にあたり処分内容も変更する。
- 3) 東京工業大学学部入学説明会の開催について、今後、後期試験の入試方式を変更することもあり、高校教員にも連絡して、従来よりも力を入れた説明会が予定されている。

### 2. 部局長等会議 (6/18/, 7/2, 7/16)

- 1) 平成22年度定期監査について、本年度は、第2期中期目標・中期計画の初年度であるため、教育研究活動の推進に関する事項を監査予定している。監査事項としては、1. 業務の効率的・効果的運営に関する事項、2. 会計経理の適正な処理に関する事項、3. 特別監査(教員の意欲向上、科研費の申請と応募状況等)とし、実施時期は関係部局と調整する。
- 2) 大学パートナーシップについて、昨年度に引き続き「国立科学博物館大学パートナーシップ」、「東京国立博物館キャンパスメンバーズ」、「国立美術館キャンパスメンバーズ」の会員となったので利用方周知願いたい。また、学生証・職員証を提示し、学生は全ての施設で、事務職員は美術館のみ利用可能となる。
- 3) 夏期一斉休業に関して、本年度は8月12日、13日に予定しているので、休業願いたい。
- 4) グローバルドクター教育院(仮称)構想について、本年3月から始まった大学院学生定員の見直し関係の最終案は、博士の定員増というこの案で概算要求する。また、平成23年度から5年間で46億円(学生へのサポートも含む)を要求。
- 5) BS日テレの番組「大学を知ろう」で、本学が紹介される。  
放送日は7月18日11:00~11:30(後半15分・前半15分は一橋大学)  
再放送は8月15日11:00~11:30(後半15分・前半15分は一橋大学)
- 6) 第2期中期目標期間における国立大学法人評価について、年度評価については「教育研究等の質の向上状況」は大幅に簡素化、「業務運営・財務内容等の状況」も大幅に簡素化する。
- 7) 平成22年10月入学大学院博士後期課程入学試験志願状況等について、「生命:募集人員各専攻若干人、志願者数2人(昨年7人)」、「総理工:募集人員各専攻若干人、志願者数38人(昨年31人)」である。また、平成22年10月入学国際大学院プログラム入学試験(C)(国内出願)の入学志願者数については、「生命:修士1人、博士なし」、「総理工:修士17人、博士3人」で、大学全体では、修士37人(昨年23人)、博士6人(昨年9人)あった。

- 8) 会計事務に関する勉強会の開催について、従来は新任教員を対象としていたが、新任以外の教職員（非常勤も含む）も対象とし、行うこととする。
- 9) 世界大学ランキングの変更について、今年から THE ランキング（データ提供トムソン社）と QS ランキング（データ提供 QS）が異なる手法で別々に公表されることになったことに伴う、THE2010 ランキングの根拠資料の変更についての報告があった。なお、トムソン社のランキングは従来よりも定量的なデータを重視する形式。
- 10) 省エネ推進のためのエアコンフィルター清掃作業の業者委託について、エアコンフィルター清掃を大学全体として、一括発注することとした。

### 3. 5 部局長懇談会（7/2）

- 1) 名誉教授へのメールアドレス提供の要望について、5 部局長懇談会主査名で名誉教授の m ドメインアドレスを残して欲しい旨の要望書を提出することとした。  
なお、学長から、前向きに検討するが、技術的に難しいことがある旨の説明があった。
- 2) 昨年度提出した旅行保険経費負担の要望書に対しては、口答で対応できない旨の回答があったが、担当理事・副学長から文書での回答をしてもらうこととした。
- 3) ヘリウム液化機の移設先として考えている設備センター地階の学長裁量スペースについて、伊澤理事・副学長に申請を行い、7 月 1 6 日開催の役員会で審議された旨の報告があった。
- 4) ホームカミングディについては、現在、大岡山の実行委員会との摺り合わせを検討中であり、すずかけ祭とタイアップして行うことは決定事項ではないがすずかけ祭とタイアップし、日曜日に開催したい旨の説明があった。
- 5) 外国人教員等の宿舍建設について、大学に提出する要望書を作成することになっているが、J S P S が所有する駒場の国際交流会館の売却問題等もあり、しばらく様子を見たい旨の報告があったが、大倉理事・副学長より、要望書は提出しておいた方がよいとの提案もあった。
- 6) すずかけ台地区建物計画について、すずかけ台地区の建物建設計画が知りたい旨の要望があった。

### 4. 5 附置研究所長懇談会（7/2）

研究所連絡会（仮称）については、すずかけ台地区の 4 研究所では研究所群で関連した情報交換と組織改革に対する検討を目的として、少数のメンバーで、話し合いの場を持つことになったので、その旨、有富原子炉研所長に説明し、理解を得た。

### 5. 第 4 回企画運営委員会（6/30）

所長から、資料 5 に基づき、外国人客員等の選考公募については公募を開始しており、既に若井先生から推薦があったが、他の先生方も是非とも応募願いたい旨の説明があった。

### 6. 第 4 回応用セラミックス研究所安全衛生委員会・第 4 回・応用セラミックス研究所ブロック安全衛生委員会（7/14）

所長から、資料 6 に基づき、次の通り説明があった。

- 1) 平成 2 2 年 7 月 7 日に実施した安全週間における点検結果報告についての説明があった。  
なお、指摘事項に関しての対応を審議した。安全管理支援室にて対応できる指摘につい

ては安全管理支援室会議にて検討することとし、他の指摘事項に関しては、施設に対応を依頼することとした。また、安全点検の際に、J 1 棟地下を駐輪場として使用できないかとの提案があったが、使用可能か施設に確認を依頼することとした。

次いで、佐々木教授から、本件についての補足説明があった後、種々意見交換を行った。

- 2) ヒヤリハット報告書については、報告事例を各研究室の学生に周知するため、個人および所属が特定されない形でフィードバックしたいとの提案があり、これを承認した。今後、報告事例が出た場合には教授懇談会でこの資料を配付し、説明の上、研究室に持ち帰り学生に周知する方式とする旨の説明があった。
- 3) 公開実験を伴うイベントのリスクアセスメントについて、公開実験を伴うイベント等を開催する場合のリスクアセスメントについて実施要請がきた旨の説明があった。また、要領について検討した結果、手続きの際、書類を提出する側が困らない様に、テンプレートを作成する必要があること、イベント等の定義の範囲がわからない等の意見があった。本件については、その旨地区安全衛生委員会に検討依頼することとした。

#### 7. 第4回共同利用・研究支援室会議 (6/30)

伊藤室長から、資料7に基づき、次の通り説明があった。

- 1) 「平成21年度共同利用報告書」が先日納品された旨の報告があった。
- 2) 玄関ホールの研究所説明パネルを一部リニューアルした旨の報告があった。
- 3) 秋のNews Letterの執筆を関係する教員に、7月末の締め切りで依頼した。
- 4) 平成22年度客員等講演会を7月22日に開催予定である旨の説明があった。
- 5) 緊急的課題の申請、採択状況について説明があった。

次いで、所長から、本件について補足説明があった。

#### その他

##### 1. 外国人研究員経費について、

所長から、本年度予算措置されている「外国人研究員経費」について、希望がある場合は申し出願したい旨の説明があった。

以上